

令和4年度 教育行政点検評価シート

《令和3年度の努力目標（取組事業）》

教育総務課	1ページ
学校教育課（給食センターを含む）	2ページ から 5ページ
生涯学習課	6ページ から9ページ
公民館	10ページ から12ページ
教育集会所	13ページ から18ページ
文化財課	19ページ から20ページ
上野図書館	21ページ から22ページ

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
教育総務課	子どもたちが、安心して学べる	1	校区再編事業の推進	上野南部地区小学校再編計画	* 依那古小学校、神戸小学校、比自岐小学校の統合協議を行った。校舎改修工事の設計業務委託及びアスベスト調査を実施し、工事に着手した。	進捗率50%	進捗率50%	7,392	継続	令和5年4月開校に向けて、校舎改修工事、バスルート協議、交流事業などを進め、令和4年度末までに完了する。
		2	学校施設整備事業等の推進	緑ヶ丘中学校大規模改造	* 校舎の大規模改造工事(建築主体工事、機械設備工事)を行った。	進捗率80%	進捗率80%	114,617	継続	令和4年度に内部建具工事を実施して、一連の大規模改造工事を完了する。
				城東・上野南中学校武道場吊天井耐震対策	* 吊天井の耐震対策工事を行った。	進捗率100%	進捗率100%	27,705	完了	学校施設長寿命化計画に基づく工事を完了した。
				阿山中学校空調設備更新	* 老朽化による空調設備の更新を行った。	進捗率100%	進捗率100%	98,456	完了	学校施設長寿命化計画に基づく工事を完了した。
		3	GIGAスクール構想の推進	GIGA端末保守サポート業務	* 端末運用サポートや年度更新を行った。	進捗率100%	進捗率100%	36,428	継続	各学校でスムーズに活用できるよう令和3年度からヘルプデスク、アップデート等運用サポートを開始した。端末の物損が多くみられ、物損保証で対応した。
		4	修学の支援等	奨学金支給	* 支給要件に合致する申請者に、運用する奨学金を支給した。	伊賀市・同和奨学金の中退者を除く受給率100%	伊賀市・同和奨学金の中退者を除く受給率100%	12,230	継続	伊賀市・同和奨学金の統合への検討を開始している。新制度が定まるまでは現状のまま継続する。
				中学校クラブ遠征参加補助	* 中学校体育大会や文化関係行事参加者の旅費に要する経費を補助を行った。	参加者負担に対する補助割合100%	参加者負担に対する補助割合90%	4,105	継続	現状のまま継続予定であるが、部活動の地域移行の進捗状況とあわせて、補助のあり方を見直していく必要がある。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見		
					令和3年度実績値	令和3年度目標値						
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	1・21 創造的で活力ある学校、地域とともにある学校づくり 創造的で活力ある園づくりの推進	地域とともに学校マニフェスト推進事業	<ul style="list-style-type: none"> * 各小中学校(園)に学校運営協議会を設置し、家庭や地域と連携し、地域や社会に開かれた学校づくりを推進した。 * 学校運営協議会の運営により、保護者と地域住民等の学校運営への参画を促し、学校、保護者、地域住民が一体となって心豊かで健やかな子どもたちの育成を図った。 * 学校支援地域本部事業を推進し、学校と地域が一体となって子どもたちを育て、地域とともにある学校づくりを進めた。 	設置者による評価値 小中学校 83.5点 幼稚園 93.9点	設置者による評価値 小中学校 85.0点 幼稚園 85.0点	13,246	継続	取組に対する一定の評価は得ているものの、今後さらに各学校(園)から情報を積極的に発信し、保護者や地域の理解と協力を求める必要がある。コロナ禍の中、保護者等が集まる機会をなかなか持てない現状であるが、通信やホームページを積極的に活用し、発信していきたい。			
				<ul style="list-style-type: none"> * 学力向上推進事業、人権同和教育研究事業、キャリア形成事業の三事業を実施し、各小中学校長が作成する「学校マニフェスト」の実現を図った。 	「人の役に立つ人間になりたい」と思える児童生徒の割合:96.4%	「人の役に立つ人間になりたい」と思える児童生徒の割合:97%						
		2・22 確かな学力の形成 生活体験に即し、興味や欲求を生かした適切な指導	学力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> * 各小中学校で学力向上アクションプランを作成し、計画・実行・評価・改善のサイクルを定着に努めた。 * 中学校1年生で標準学力検査を実施した。 * 学力向上アドバイザーを各小中学校に派遣した。 * 学力向上支援事業(市費)を充実させる。 * 「家庭学習・読書のすすめ」を作成し、各小中学校に配付した。 * 全国学力・学習状況調査(国費)、みえスタディ・チェック(県費)を実施した。 * 一人一台端末をはじめICT機器を効果的に活用した授業づくりに取り組んだ。 	全国学力・学習状況調査 市内小中学校の平均点の全国比 小学校:100.9 中学校:99.2	全国学力・学習状況調査 市内小中学校の平均点の全国比 小学校:105.0 中学校:100.0	9,350	継続	2年ぶりに全国学力・学習状況調査が実施された。小学校、中学校とも目標値には至らなかったが、伊賀市の児童生徒は、概ね全国平均の学力を身につけていると言える。学力の向上は、児童生徒、保護者、地域の願いであり、最重要課題の1つである。今後も課題分析と、その解決に向け、学校、教育委員会が取組を進める。			
				<ul style="list-style-type: none"> * 部会別教育研究活動の充実を図った。 * 夏季教育講演会を開催した。 * 研究指定校研究推進事業の充実を図った。(府中小成和東小・他)4校 * 一人一台端末を活用した授業づくりについての教職員研修を実施した。 	研修講座への参加人数 参加者数:984人	研修講座への参加人数 参加者数:1,500人						
					教職員研究研修経費				21,437	継続	新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン形式で実施した研修講座もあった。経験の少ない若手教員の割合が増加していることから、指導力の向上が課題であり、今後も充実を図りたい。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	3□ 人権・同和教育の積極的な推進及び差別解消に取り組む実践的な人間の育成	人権同和教育推進事業	* 伊賀市人権同和教育基本方針に基づいた研究テーマを設定し、人権・同和教育の研究と実践を行った。 * 幼稚園・小中学校全教職員で学校人権・同和教育部会を組織し、全市的に人権・同和教育の研究と推進を行った。	人権・同和教育の推進(人権教育カリキュラムの見直し)を「十分図れた」「図れた」学校数:29校	人権・同和教育の推進(人権教育カリキュラムの見直し)を「十分図れた」「図れた」学校数:29校	3,141	継続	コロナ禍の中で、中止となる研修会や地区別懇談会があり、参加回数が減少した。児童生徒が関わる人権侵害(差別事象)の現状は、障がいにかかわる差別発言や外国人、性的マイノリティに対する発言等、減少しているものの、依然として多い。今後も地域や家庭、様々な関係機関と連携しながら、取組を進めていく必要がある。	
		24 人権・同和教育の推進			学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数:3.3回	学校(園)の教職員の人権のつどい・研修会・地区懇談会等参加回数:5回以上				
		4 キャリア教育の推進	キャリア教育推進事業	* 小学校段階からの教育活動全体を通じた組織的・継続的な取組を推進した。「キャリア・パスポート」の活用) * 各学校における発達段階に応じた教育課程のあり方を研究した。 * 「伊賀市キャリア教育研修会」を開催し、専門家や企業側からみたキャリア教育のあり方を示してもらい、小中連携の意義を再確認し、今後の方向性を示した。 * 「自分発見! 中学生・地域ふれあい事業」において、全中学校で職場体験活動を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止した。その内容を補うものとして、地元の企業からゲストティーチャーを招聘したりして、将来の夢や職業、働くこと等、自分の生き方について考える活動に取り組んだ。	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と回答した生徒の割合:-%	「自分の生き方や進路を深く見つめることが出来た」と回答した生徒の割合:90%	2,410	継続	職場体験活動を中止せざるを得ず、指標結果得られなかった。コロナ禍の中、各校の工夫によって、生き方学習や進路学習を推進した。今後も、児童生徒が自らがキャリアビジョンを持てるようキャリア教育を充実させていく。	
		7 生徒指導の充実及び健全な児童生徒の育成 23 豊かな情操の芽生えと望ましい生活習慣の育成	生徒指導推進事業	* 各学校において家庭訪問、巡視・補導、関連機関との連携・対応、捜査活動等の生徒指導活動に取り組むとともに、教育相談体制・生徒指導体制を整備し、教育相談員等と連携しながら問題行動の早期発見・早期の対応や未然防止に取り組んだ。 * スクール・ソーシャル・ワーカーを2人配置し、学校からの要望に基づいて、家庭支援や制度利用支援をおこなった。 * 全小中学校で学級満足度調査(Q-U調査)を2回実施し、児童生徒の個別の状態や学級集団の状態を把握し、個別の指導や学級経営に活用するように努めた。 * 全学校にいじめ問題相談員を配置し、地域においてもいじめ問題に相談できる体制づくりに努めた。	小中学校における問題行動発生件数:22件	小中学校における問題行動発生件数:0件	2,851	継続	関係機関との連携を強化しながら、問題行動への対処にとどまらず、未然防止に向けた取組を進める。	

学校教育課・給食センター

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	8 28 29 不登校児童生徒への理解と社会的自立に向けた支援の推進 教育相談の実施 不登校児童生徒の支援	不登校児童生徒支援事業	* 伊賀市教育研究センター(ふれあい教室)で、不登校児童生徒に対する適応指導活動、児童・生徒及び保護者との教育相談活動を実施した。 * 不登校の実態把握、教育相談に関わる教職員研修を実施した。	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合:82.1%	不登校児童生徒の好ましい状況変化の割合:100%	3,433	継続	関係機関と連携しながら、きめ細かい取組を進めるとともに、教育相談の充実を図る。	
		10 子どもたちの安全・安心の確保	教育振興一般経費	* 教育活動サポーターの配置、自転車ヘルメットの配付、「子どもSOSの家」旗及び注意喚起看板等の購入により、児童生徒の安全を確保するように努めた。	登下校中の小中学生の交通事故発生件数:22件	登下校中の小中学生の交通事故発生件数:0件	1,877	継続	児童生徒の安全の確保に向け、今後も関係機関及び地域の協力を得ながら取組を進めていく。	
		11 ・ 26 特別支援教育の充実 個別の支援を要する幼児についての深い理解と実態に即した適切な指導	特別支援教育充実事業	* 教育支援員、特別支援教育支援員を配置し、児童生徒のニーズにあった支援を行う体制を作った。 * 児童生徒の正しい理解のために専門機関による巡回相談を実施し、適切な支援につなげた。	教育支援員・特別支援教育支援員配置:56人	教育支援員・特別支援教育支援員配置:50人	1,937	継続	特別な支援を必要とする児童生徒の教育的ニーズは、年々多様化している。一人ひとりの多様な課題に応えられるよう、より適切な支援を行うことが今後増々必要である。	
		13 外国人児童生徒に対する教育の充実と多文化共生教育の推進	外国人児童生徒支援事業	* 初期適応指導教室(チャレンジ教室)の運営した。 * 「外国人児童生徒と保護者のための進路ガイダンス」を実施した。 * 日本語指導者研修会の開催した。 * 外国人児童生徒日本語指導補助員の配置した。 * 日本語指導コーディネーターを派遣した。 * 通訳派遣、翻訳支援を実施した。 * 外国人児童生徒の学習支援(漢字検定補助等)を行った。	・日本語指導が必要な外国人生徒の高校進学率:95.2% ・漢字検定 外国人児童生徒の受検率60.1%	・日本語指導が必要な外国人生徒の高校進学率:90% ・漢字検定 外国人児童生徒の受検率50%	5,794	継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、進路ガイダンスは規模を縮小しての実施であったため参加者数は減少した。しかし、外国にルーツを持つ児童生徒の割合は多く、今後も進路保障を見据えた様々な取組が重要だと考えている。	

学校教育課・給食センター

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
学校教育課	子どもたちが、未来に夢や希望を持てる	14	外国語教育の推進	英語指導助手招へい経費	<ul style="list-style-type: none"> * JETプログラム事業におけるALTの各中学校へ派遣した。 * 直接任用による外国語活動指導助手を各小学校へ派遣した。 * 小学校外国語指導者研修会を実施した。 * 「英語力向上プロジェクト」(英語検定補助)を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.8日 ・中学3年生における英語検定3級以上合格率38.5% 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校1クラスあたりのALT派遣日数:約8.2日 ・中学3年生における英語検定3級以上合格率30% 	2,641	継続	小学校5・6年生の外国語科の実施、中学校の英語教育の充実に向けた課題など、事業のニーズはさらに高まっていると考えている。
		27	教育研究の推進充実	教育研究センター管理運営費	<ul style="list-style-type: none"> * 教育研究センターの管理運営を行った。 ・学校教育及び社会教育関係者の研修会等を開催した。 ・教職員、学校、地域の連携の支援に努めた。 	会議室使用延べ人数:9,485人	会議室使用延べ人数:10,800人	3,640	継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、会議室使用人数が減少したが、今後も積極的な運用を促進していきたい。
給食センター	子どもたちが安心して学べる	20	学校給食の充実	学校給食管理事業	<ul style="list-style-type: none"> * JAなどの物資納入業者と連携し、食材の確保や価格の調整を図りながら地場産品、特に伊賀産を積極的に使用した。また、いがスマイル給食の取り組みでは、児童・生徒に伊賀市の特産品を知ってもらえるよう献立表等でお知らせをしたり、DVDを活用した。 * 児童の施設見学、学校を訪れ給食センターの業務を紹介しながら、学校給食を通しての食育を実施した。 * 毎月発行する「給食だより」では地元食材を紹介し、伊賀市ホームページには給食の献立盛付表を掲載するなど、家庭に学校給食を知ってもらった。 * 調理場から出る食材の不可食部、学校から戻る残食を検量することで、実態を把握した。また、その結果を食育指導に生かし、「食品ロス」等にも触れた。 * 児童のリクエストメニューを提供した。 	地場産食材(県内産・伊賀産)使用率(年間平均)3センター平均:33.9%	地場産食材(県内産・伊賀産)使用率(年間平均)3センター平均:30.0%以上	308,091	継続	地場産食材使用率は、目標を超え、さらに向上している。食育については、各学校と連携を取りながらの推進を継続する。

所 属	施 策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指 標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
生涯学習課・公民館	生涯を通じ、活動できる生きがい	1	社会教育の推進	成人式開催経費	令和4年1月9日(日)に新成人を祝う式典を中学校区別(9会場)に開催した。昨年度に引き続き広い会場への変更や来賓招待の代替としてメッセージビデオ放映など、コロナ感染対策のための様々な禁止や条件を付ける等を実施した。	参加率:76.53%	参加率:80%	1,117	継続	民法改正に伴う成年年齢引き下げにより対象者を18歳に変更し、令和5年に限っては3年を対象に開催する。
		3	地域づくりの支援	生涯学習推進啓発事業	*上野公民館分館に配置の社会教育推進員を対象に研修等を行った。 *人材育成講座として読み聞かせボランティア入門講座を開催した。 *住民自治協議会等研修会を開催した。	参加者数:320名 (うちオンライン参加者数:39名)	参加者数:350名	78	継続	地域活動の充実を図るため、他地域の情報や地域住民が学習する機会を継続して提供する必要がある。
		4	人権尊重の精神を培い、主体的に行動のできる人づくり	教育集会所交流事業	*伊賀市教育集会所小学生交流事業「みんなよっといで!! 6年生」を開催した。 *伊賀市教育集会所中学生交流会を開催した。 *伊賀市教育集会所高校生・青年人権学習交流会を開催した。 *伊賀市教育集会所保護者の部落問題学習会を開催した。	参加者数:286名	参加者数:250名	477	充実	地域を越えて差別を許さない・差別をなくす仲間の輪を構築するために、差別がある限り継続する必要がある。
	部落差別をなくす	8	人権問題啓発活動の推進	同和教育研究推進事業	*関係機関と連絡調整を図り、人権同和教育推進活動を行う。 *講演会、研修会、研究大会を開催した。	参加者数:11,125人	参加者数:8,500人	4,673	継続	部落差別をはじめとする個別の人権課題解決に向けて、地域住民が自ら学ぶ機会として継続して行う必要がある。
					(いがまち) ①学校人権同和教育研究会補助等 ②小中学校交流会補助	①12部会の開催回数:60回 ②開催回数:小学校4.5.6年中学校1.2.3年各1回 参加者数:456人	①12部会の開催回数:60回 ②開催回数:小学校4.5.6年中学校1.2.3年各1回 参加者数:350人	①85 ②34		家庭・地域と連携し、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消を目指す人権・同和教育を推進する必要がある。
					(いがまち) *人権パネル展示 *人権図書コーナー設置 *公民館人権講演会	開催回数:5回 参加者:2000人 蔵書数:370冊 開催回数:中止	開催回数:5回 参加者:2800人 蔵書数:370冊 開催回数:1回 参加者数:50人	-	改善	(次頁)

所屬	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
生涯学習課・公民館	部落差別をなくす	8	人権問題啓発活動の推進	同和教育研究推進事業	(阿山) * 人権作文・ポスター展示 * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 人権同和問題学習講座	開催回数:1回 来館者数:不明 開催回数:10回 来館者数:8,002人 開催回数:1回 蔵書数:210冊 開催回数:中止	開催回数:1回 来館者数:600人 開催回数:12回 来館者数:6,000人 開催回数:1回 蔵書数:210冊 開催回数:4回 参加者数:500人	-	改善	人権・同和教育や人権啓発を推進する指導者の育成、関係団体等への人権研修の周知や自己学習を進めるための図書コーナーを設置した。人権講演会、人権研修会はコロナウイルス感染防止のため中止したが、人権啓発のため今後も継続実施する。
					(大山田) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 文化講演会 * サークル団体等人権研修会	開催回数:7回 蔵書数:265冊 開催回数:中止 開催回数:中止	開催回数:10回 蔵書数:265冊 開催回数:1回 参加者数:40人 参加者数:20人	-		
					(青山) * 人権パネル展示 * 人権図書コーナー設置 * 公民館人権研修会	開催回数:9回 参加者数:263人 開催回数:通年 開催回数:中止	開催回数:8回 参加者数:1,500人 開催回数:2回 開催回数:2回 参加者数:110人	-		
	子どもや若者が、健やかに成長する	5	青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	* 第14回「輝け！いがっ子フォトコンテスト」を実施し、輝け！いがっ子憲章を周知・啓発した。 * 子どもたちに読書に親しむ機会を提供するとともに、家庭での読書活動の大切さについて啓発し、子どもの読書活動を推進した。 * 伊賀市青少年ネットワークづくり研修会・伊賀地区子どもわかもの育成支援のための支部研修会等を開催した。 * 青少年健全育成推進大会を開催した。 * 伊賀市青少年育成市民連絡会議の活動を補助し、世代間交流、自然体験学習など各地域の特色を生かした事業の実施を支援した。 * 青少年非行防止活動強化月間(7月)、子ども・若者育成支援強調月間(11月)、未成年者喫煙防止キャンペーンとして青少年健全育成市内一斉活動を計画した(コロナで中止)。	青少年健全育成推進大会参加者数:88人	青少年健全育成推進大会参加者数:150人	1,420	改善	青少年を取り巻く状況を把握し健全育成に取り組む体制が各地区市民会議において形成されており、地域ごとに特色のある事業実施ができている。今後も、市民に対する青少年健全育成の活動や団体の周知・啓発に努め、各地域での取り組みを尊重するとともに、伊賀市全体として一体化した取り組みを充実させる。
					* 上野児童福祉会連合会に委託し、遊び文化・生活文化・自然環境を考えること等を大切に、よりよい子ども社会構築のための事業を実施した。	開催回数:1回、参加者数:34人	開催回数:7回、参加者数:500人	986		新型コロナウイルス感染拡大防止のためほとんどの事業が中止となったが、市内全域を対象とした青少年健全育成事業として継続実施が必要である。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
生涯学習課・公民館	子どもや若者が、健やかに成長する	5 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	(いがまち) ①夏、冬の体験教室	①開催回数:1回 参加者数:26人 (冬は中止)	開催回数:2回 参加者数:40人(夏季) 参加者数:80人(冬季)	-	改善	地域の青少年健全育成について、地域ぐるみで事業を実施できた。 今後も引き続き各種団体と連携し取り組みを充実させる。	
				②小中学生下校時パトロール ③非行防止夏季夜間パトロール	②開催回数:10回 参加者:26人 ③開催回数:1回 参加者数:40人	開催回数:18回 参加者:45人 開催回数:1回 参加者数:50人				
				(島ヶ原) ①青少年非行防止パトロール ②非行防止事業 ③体験型学習	①開催回数:10回 参加者数:20人 ②開催回数:1回 参加者:19人 ③開催回数:10回 参加者数:239	開催回数:25回 参加者数:80人 開催回数:1回 参加者数:20人 開催回数:20回 参加者数:500人	-			
				(阿山) ①青少年非行防止パトロール ②人づくり市民会議事業連携	①開催回数:1回 参加者数:6人 ②開催回数:20回 参加者数:不明	開催回数:4回 参加者数:70人 開催回数:18回 参加者数:700人	-			
				(大山田) むらびとづくり推進会議事業連携	開催回数:0回 コロナのため中止	開催回数:6回	-			
				(青山) * 小中学校下校時パトロール * 青山青少年育成会議事業連携	開催回数:5回 開催回数:中止	開催回数:15回 開催回数:11回	-			

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
生涯学習課・公民館	子どもや若者が、健やかに成長する	5 青少年の創造的、主体的活動の進展と健全な育成活動の推進	青少年健全育成事業	* 上野児童福祉会連合会に委託し、郷土の産業や伝統文化・環境など、さまざまな体験を通して、「誇れるふるさと」を学習するための事業を実施した。 開催回数:5回 参加者数:98人	開催回数: 7回 参加者数:140人	67	改善	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった回もあったが、子どもたちに体験をとおしてふるさとを学び、人とつながる機会の提供ができた。今後も子どもたちへの交流や学びの機会の提供に努める。		
			青少年健全育成事業	* 3つの放課後子ども教室の活動支援を行い、市内の新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて活動を実施した。(4教室のうち、1教室は令和3年度より開設、1教室は新型コロナウイルス感染拡大防止のため1年間活動休止) * 伊賀市放課後子どもプラン施策検討委員会を3月に開催した。 教室1回あたりの平均利用児童数(3教室計):10人	教室1回あたりの平均利用児童数(全教室計):80人	1,854	継続	コロナ感染対策を充分取りながら活動して頂いた。放課後子どもプラン施策検討委員会においては、放課後児童クラブとの一体型や連携型の実施について協議頂いた。今後、地域において教室の開設希望がある場合、引き続き支援を行う。		
			青少年センター運営経費	* 街頭補導活動(定時補導・随時補導・特別補導・協助手補導)を実施した。 * 電話および面談による青少年相談活動を実施するとともに、その周知に努めた。 * 環境浄化活動とし、コンビニエンスストア・書店・小売店等に、低俗な広告物・有害玩具・有害図書・不良環境の排除等への協力を依頼した。 補導人数:15人	補導人数:10人	638	継続	関係機関や関係団体と連携し、計画的な街頭補導活動と環境浄化活動を実施し、状況に合わせて補導内容の検討・改善を行った。今後も活動の充実を図るとともに、青少年相談窓口の周知に努める。		

所属	施策	努力目標	取組事業名	公民館	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
						令和3年度実績値	令和3年度目標値				
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	生涯学習推進事業	上野公民館	通年講座(悠々セミナー・ダンスフィットネス・体を使って脳トレEnglish)、歴史・文学講座、地域出前講座、はじめてのリモート講座、定住自立圏連携事業	開催回数:29回 参加者数:570人	開催回数:26回 参加者数:1000人	209	改善	コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら継続して事業を実施する。	
					初めての講師サポート事業	開催回数:10回 参加者数:72人	開催回数:8回 参加者数:140人	0		コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら継続して事業を実施する。	
					親子体験講座	開催回数:4回 参加者数:71人	開催回数:4回 参加者数:100人	31		小学生と保護者を対象に体験学習に取り組めた。	
					干支の春展	参加者数:715人	参加者数:280人	58		歴史のある取り組みであるため、継続して実施する。	
					サークルまつり	サークル数:20 (中止)	サークル数:21団体	14		コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。	
					公民館サークルの育成	回数:2回	回数:2回	0		サークル活動の場として継続した支援が必要。	
					上野分館活動事業	分館数:22 事業数:189	分館数:22 事業数:200	5,360		完了	上野と青山だけにある分館は、市域全体で新しい生涯学習体制を整えるため廃止。
				いがまち公民館	公民館一般講座	開催回数:32回 参加者数:428人	開催回数:31回 参加者数:660人	188	改善	新型コロナウイルス感染防止のため中止となった事業があり、開催回数や参加人数が減少した。今後は、新しい生涯学習体制を活かし市民のニーズに応じた教室を実施する。	
					公民館子ども講座	開催回数:7回 参加者数:118人	開催回数:9回 参加者数:110人	42			
					読み聞かせ会	開催回数:29回 参加者数:406人	開催回数:30回 参加者数:450人	12			
					やまなみ文化協会育成	-	回数:2回	180			
					やまなみ文化祭	開催回数:1回 参加団体数:9団体	開催回数:1回 参加団体数:12団体	50			
					いがまち展覧会	開催回数:1回 出展者数:263人	開催回数:1回 出展者数:800人	33			
				島ヶ原公民館	健康体操教室・園芸教室・初心者のパソコン教室・彩々教室	開催回数:20回 参加者数:301人	開催回数:24回 参加者数:350人	114		新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催できないことが多かったが、生涯学習の場を提供することにより、生き生きとした活動や取り組みが出来ればと考えます。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	公民館	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
						令和3年度実績値	令和3年度目標値				
公民館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	7 生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	生涯学習推進事業	島ヶ原公民館	絵本の読み聞かせ教室	開催回数:8回 参加者数:392人	開催回数:20回 参加者数:600人	30	改善	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催回数は少なくなったが、親と子が心のふれあいを深めたり、読書の楽しさを知る機会となっています。	
					文化サークルまつり演芸会	中止	開催回数:1回 参加者数:100人	0		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。	
					文化作品まつり展覧会	中止	開催回数:1回 参加者数:600人	0		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。	
					公民館サークルの育成	回数:2回	回数:3回	104		新型コロナウイルスの感染拡大防止のため会議やミーティングの回数は少なくなったが、地域の方やサークル協議会の方のご意見を聞きながら充実した活動ができるようサポートしていきたいと思います。	
				阿山公民館	一般対象講座	開催回数:3回 参加者数:47人	開催回数:6回 参加者数:100人	24		新型コロナウイルス感染防止のため中止となった事業があり、開催回数や参加人数が減少した。今後は、新しい生涯学習体制を活かし市民のニーズに応じた教室を実施する。	
					子ども対象講座	開催回数:10回 参加者数:116人	開催回数:33回 参加者数:400人	98			
					あやま芸能まつり	中止	開催回数:1日 参加者数:450人	0			
					あやま展覧会	開催回数:3日 参加者数:669人	開催回数:3日 参加者数:1,000人	0			
					公民館サークルの育成	-	回数:6回	104			
					読み聞かせ会	開催回数:10回 参加者数:44人	開催回数:24回 参加者数:100人	15			
					大山田公民館	一般対象講座	開催回数:19回 参加者数:244人	開催回数:20回 参加者数:300人			78
				子ども対象講座		開催回数:10回 参加者数:156人	開催回数:10回 参加者数:200人	54			
				リズム運動教室(園児対象)		開催回数:6回 参加者数:192人	開催回数:6回 参加者数:200人	54			
				サークルの育成		-	回数:3回	0			

所属	施策	努力目標	取組事業名	公民館	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
						令和3年度実績値	令和3年度目標値					
公民館	7	生涯学習の機会や場の提供を図り、活動内容の充実	生涯学習推進事業	大山田公民館	芸術文化祭(芸能大会)	中止	参加団体数:7団体	0	改善	(前頁)		
					芸術文化祭(展覧会)	中止	出展者数:750人	0				
					読み聞かせ会(図書室)	-	開催回数:24回 参加者数:240人	47				
					読み聞かせ会(大山田小学校)	-	開催回数:30回 参加者数:1,100人					
					読み聞かせ会(子育て支援センター他)	-	開催回数:3回 参加者数:120人					
				青山公民館	出前講座(穂月明作品写真パネル各センター巡回展示)	開催回数:6回 参加者数:50人	開催回数:6回 参加者数:300人	0			新型コロナウイルス感染防止のため中止となった事業があり、開催回数や参加人数が減少した。今後は、新しい生涯学習体制を活かし市民のニーズに応じた教室を実施する。	
					まなびあおやま(一般)講座	開催回数:1回 参加者数:6人	開催回数:15回 参加者数:250人	6				
					まなびあおやま(子ども)講座	開催回数:1回 参加者数:6人	開催回数:6回 参加者数:220人	13				
					図書室公開講座『おはなし広場』	中止	開催回数:4回 参加者数:200人	0				
					地域芸術向上支援事業	開催回数:9回 参加者数:103人	開催回数:4回 参加者数:150人	0				
					地域学習講座	開催回数:1回 参加者数:16人	開催回数:4回 参加者数:300人	0				
					読み聞かせ会(図書室)	開催回数:7回 参加者数:22人	開催回数:12回 参加者数:100人	28				
					文化サークル連協芸能発表会	中止	開催回数:1回 参加者数:400人	0				
					ふるさと美術文化展覧会	開催回数:1回 参加者数:328人	開催回数:1回 参加者数:410人	0				
公民館サークルの育成	回数:3回	回数:3回	0									
青山分館活動事業	分館数:6 事業数:39	分館数:6 事業数:48	1,129	完了	上野と青山だけにある分館は、市域全体で新しい生涯学習体制を整えるため廃止。							

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	教育集会所事業経費	* 地域ぐるみの同和教育総合実践活動事業 (崇広中学校区ヒューマンフェスタ) 崇広中学校を中心に校区内小学校の教師、保護者を対象に研修会等を開催し、校区内の人権同和教育を推進した。 令和3年度も崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタはコロナ禍により中止になりました。(崇広中学校区地域ぐるみの人権・同和教育推進委員会に委託)	(八幡) 開催中止	(八幡) 開催回数:1回 参加者数:2,000人	10	充実	崇広中学校校区内小学校の教師、保護者を対象に研修会等を開催し、校区内の人権同和教育を推進した。 当該校区において人権意識を高めることが出来、非常に意義のあるイベントであったため、継続すべきと考える。	
				* 人権同和教育相談事業 人権同和教育の推進と併せて、保護者からの相談の機会として開設し、対応した。(各集会所では随時対応)	(寺田) 開催回数:15回 参加者数:15人	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:10人	-		今後も保護者とのつながり・関係を深め、相談しやすい雰囲気・環境づくりを進めていく。	
				* 中瀬ふれあい夏祭り人権トーク&コンサート * 寺田フィールドワーク * 小中人権同和教育講演会	(寺田) 開催回数:6回 参加者数:471人(人権トーク&コンサートは中止)	(寺田) 開催回数:6回 参加者数:1,200人	450		地域住民の交流を図りながら、人権同和教育並びに人権啓発を推進することができたと考え。今後も、継続して実施していく。	
				* 城東中学校区小学校3・6年生人権学習会 * 城東中学校1年生人権学習会	(寺田) 開催回数:10回 参加者数:478人	(寺田) 開催回数:9回 参加者数500人	-		担当教職員との事前の打ち合わせにより、対象児童・生徒の現状等を的確に把握し、より効果的なものになるよう、内容等も工夫しながら、実施していく。	
				* 寺田教育を考える保護者の会 * 保小中高連絡会 * 中瀬城東保育園・支部・教集三者懇談会 * 中瀬小学校・支部・教集三者懇談会 * 城東中学校・支部・教集三者懇談会	(寺田) 開催回数:25回 参加者数:459人	(寺田) 開催回数:30回 参加者数:400人	-		保護者・地域住民・学校との交流を図りながら、人権同和教育並びに人権啓発を推進することができたと考え。今後も、継続して実施する。	
				* 伊賀地区校区連絡会議	(前川) 開催回数:10回 参加者数:117人	(前川) 開催回数:10回 参加者数:130人	-		児童・生徒の生活や学習に関わる情報を保小中高で共有し、同和教育の充実を図るために継続して実施する。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見	
					令和3年度実績値	令和3年度目標値					
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	教育集会所事業経費	* 大山田保育園解放保育懇談会 * 大山田小学校教育懇談会 * 大山田中学校教育懇談会	(奥馬野) 開催回数: 3回 参加者数: 84人	(奥馬野) 開催回数: 3回 参加者数: 95人	-	充実	子どもたちの実態をふまえ、保育園、小中学校で懇談会を実施し、解放保育・人権教育を充実した。	
					* 青山学校同和教育推進委員会	(老川) 開催数: 年9回 延べ参加者数: 90人	(老川) 開催数: 年11回 延べ参加者数: 110人	9		管内の保幼小中の児童生徒の状況把握、校種間・関係機関との連携ができており、今後も必要な取り組みである。	
					* 保小中同和教育実践交流会	老川) 開催数: 年6回 延べ参加者数: 177人	(老川) 開催数: 年5回 延べ参加者数: 100人	6		管内の保幼小中の教職員の人権意識の向上の一助となり、人権教育カリキュラムとして実施するために不可欠である。	
					* 推進委員会 * 実践報告書作成 * 推進委員会だより発行	(老川) 開催数: 年1回 参加者数: 7人 発行: 年1回 発行: 年3回	(老川) 開催数: 年1回 参加者数: 7人 発行: 年1回 発行: 年3回	191		管内地域住民に学校人権同和教育の周知の一助となっており、継続する必要がある。	
		9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	* 生活講座、識字教室 部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、文字を中心とした学習活動や差別の不合理さを伝え差別をなくすための啓発活動を共同作品制作を通じて行った。	(八幡)識字教室 開催回数: 41回 参加者数: 169人	(八幡)識字教室 開催回数: 48回 参加者数: 340人	13	継続	部落差別によって学ぶ機会を奪われた文字や文化・生活のため、学習活動や差別の不合理さを伝え差別をなくす啓発活動を共同作品制作を通じて行った。参加者同士が共同作品を制作することでより繋がりのある活動になっているため、継続すべきと考える。	
						(前川) 開催回数: 58回 参加者数: 977人	(前川) 開催回数: 90回 参加者数: 1000人	640		差別の結果による非識字を解消するために識字活動を継続して実施する。	
						(奥馬野) 開催回数: 20回 参加者数: 181人	(奥馬野) 開催回数: 37回 参加者数: 270人	227		部落差別によって奪われた文字や文化・生活を取り戻すため、様々な学習活動や、差別の不合理さを伝え差別をなくすための啓発活動を共同作品を通じて行いました。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	人権教育推進事業	(前頁)	(老川) ・生活講座 開催数:年19回 延べ参加者数116人 ・識字教室 開催数:年16回 延べ参加者数:88人 ・パソコン教室 開催数:年16回 延べ参加者数:78人	(老川) ・生活講座 開催数:年20回 延べ参加者数110人 ・識字教室 開催数:年20回 延べ参加者数:110人 ・パソコン教室 開催数:年20回 延べ参加者数:110人	31	継続	地区住民の生きがいのある生活につながっている。また、地域の教員の差別の現実と当事者の思いを知る機会となっており、継続する必要がある。	
					(八幡) 開催回数:23回 参加者数:621人	(八幡) 開催回数:32回 参加者数:1,000人	30		差別を許さない仲間づくりを進める中で、人権感覚豊かな子ども達の育成が図れている。	
				* 小学生地区学習会 部落差別をはじめとするあらゆる差別を許さない仲間づくりを進めるために、地域の歴史や人々の生活を学ぶことで誇りに思い、差別を見抜き、なくしていくことのできる学習を行った。 * 子ども教室 学力保障と差別をなくす仲間づくりを進めるため、長期休業期間中に、学習会や体験教室を実施した。	(寺田) 開催回数:27回 参加者数:383人 (寺田教科学習会) 開催回数:26回 参加者数:192人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数:25回 参加者数:64人	(寺田) 開催回数:31回 参加者数:600人 (寺田教科学習会) 開催回数:30回 参加者数:140人 (寺田小学生春・夏・冬休み子ども教室) 開催回数:65回 参加者数:600人	68		地域探検などのふれあい活動や体験教室、また中学生、高校生・青年との交流を通して、学力保障とともに、生活体験を増やす活動を実施した。少子化により、地域の児童が減少する中、今後も、差別をなくしていく仲間として団結していくことができるよう、事業を計画、継続して実施していく必要がある。	
				* 小学生地区学習会	(下郡) 開催回数:29回 参加者数:336人	(下郡) 開催回数:40回 参加者数:450人	44		地区学習会児童数は15名で、地区内児童は1名で小学校区内の希望者を募り学習会を開催している。	
					(前川) 開催回数:30回 参加者数:845人	(前川) 開催回数:40回 参加者数:720人	172		部落差別を見抜き、差別をなくす仲間づくりを進める学習を実施する。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	人権教育推進事業	(前頁)	(奥馬野) 開催回数:24回 参加者数:628人 (ライトピア子ども会) 開催回数:6回 参加者数:73人	(奥馬野) 開催回数:30回 参加者数:800人 (ライトピア子ども会) 開催回数:10回 参加者数:120人	(奥馬野) 370 (子ども会)9	継続	【小学校地区学習会】 地域の人々の暮らしや歴史を学び、差別を許さない確かな認識や豊かな人権感覚を持った仲間づくりを進め、基礎学力をつけ未来を切り開く進路保障の取り組みを進めた。 【ライトピア解放学習会】 事業は奥馬野・中馬野・坂下地域の小学生を対象とし、地域のつながりを深め、夏休み・冬休みには学習会を実施し学力の補充を行った。 なお、児童と保護者が参加できる体験活動については、新型コロナウイルスまん延のため実施できなかった。	
				* 中学生地区学習会、高校生友の会	(八幡)中学生地区学習会 開催回数:28回 参加者数:370人	(八幡)中学生地区学習会 開催回数:36回 参加者数:440人	85		将来の展望を持ち、仲間とともに自己実現を図る学習会を開催した。中学生の学力向上と人権意識の向上や高校生等の差別を許さない仲間づくりに寄与しているため、継続すべきと考える。	
					(下郡) 開催回数:16回 参加者数:105人 (下郡高校生友の会) 開催回数:10回 参加者数:0人	(下郡) 開催回数:30回 参加者数:330人 (下郡高校生友の会) 開催回数:12回 参加者数:36人	25		・地区学習会では地区内対象者の減少する中、他地区の生徒も含めて実施することで、新たな交流と学習が備わった。 ・友の会では、高校生・社会人も少なく、案内書を出すものの参加の向上に至っていないが、根気よくこれからも対象者への案内も続けていく。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9	人権同和教育の推進	人権教育推進事業	* 中学生地区学習会、高校生友の会	(寺田) 開催回数: 30回 参加者数: 336人 (寺田教科学習会) 開催回数: 40回 参加者数: 351人 (寺田高校生・青年友の会) 開催回数: 13回 参加者数: 60人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数: 4回 参加者数: 171人	(寺田) 開催回数: 35回 参加者数: 450人 (寺田教科学習会) 開催回数: 50回 参加者数: 310人 (寺田高校生友の会) 開催回数: 15回 参加者数: 70人 (寺田小中高合同地区学習会) 開催回数: 2回 参加者数: 100人	255	継続	児童・生徒・青年の縦のつながりを深めることを意識して、事業を実施した。少子高齢化により、地域の児童・生徒・青年が減少する中、今後も、差別をなくしていく仲間として団結し、活動のリーダーとなっていくことができるよう、事業を計画、継続して実施していく必要がある。
						(前川・中友) 開催回数: 29回 参加者数: 807人 (前川・高友) 開催回数: 48回 参加者数: 355人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数: 1回 参加者数: 17人	(前川) 開催回数: 90回 参加者数: 1,000人 (前川・わかもの&スクラム) 開催回数: 3回 参加者数: 80人	401		部落差別の解消を目指し、行動に移せる生徒を育てる学習を実施する。 また、差別解消に取り組んでいる青年層と次の世代(中・高)との交流を深める。
						(奥馬野) 開催回数: 26回 参加者数: 458人 (奥馬野中高生学習会) 開催回数: 5回 参加者数: 41人	(奥馬野) 開催回数: 30回 参加者数: 600人 (奥馬野中高生学習会) 開催回数: 8回 参加者数: 60人	(奥馬野) 266 (中高生) 5		【中学校地区学習会】 * 地域の人々の暮らしや歴史を学び、差別を許さない確かな認識や豊かな人権感覚を持った仲間づくりを進め、基礎学力をつけ未来を切り開く進路保障の取り組みを進めました。 【中学生高校生学習会】 * 夏休み・冬休み・春休みを利用して、確かな学力を身につけ進路を保障していくために、課題や復習問題に取り組む機会を提供しました。

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
教育集会所	部落差別をなくす	9 人権同和教育の推進	人権教育推進事業	* 人権教育講演会、学習会 部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けて、地域における人権同和教育をすすめるために、様々な機会をとらえて人権同和教育に対する講演会や学習会を開催している。 一部の講座等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として中止した。	(八幡) 開催中止	(八幡) 開催回数: 2回 参加者数: 120人	-	継続	奨学金の意義を奨学生と保護者、学校関係者に対して深く周知することができるため、継続すべきと考える。	
					(下郡人権と平和学習会) 開催回数:【展示会】1回 参加者数: 81人 (依那古草の根会議) 開催回数: 1回 参加者数: 50人 (上野南中学校区学習会) 開催回数: 5回 参加者数: 78人 (高齢者人権教養講座) 開催回数: 0回 参加者数: 0人	(下郡人権と平和学習会) 開催回数: 2回 参加者数: 130人 (依那古草の根会議) 開催回数: 1回 参加者数: 100人 (上野南中学校区学習会) 開催回数: 1回 参加者数: 70人 (高齢者人権教養講座) 開催回数: 1回 参加者数: 60人	-		・人権と平和学習会については、他の団体と連携して実施できたことは、よい啓発に結びついている。今後においても効果的な内容の講演会・学習会を提供し、人権教育推進事業として取り組みを図る。 ・草の根会議では、コロナ禍の中で役員に限定し講演会を開催した。 ・上野南中学校区学習会では、推進委員会・実践交流会を実施し、他の事業についてはコロナ禍のため中止となった。 ・高齢者人権教養講座は、コロナ禍で中止となった。	
					(前川・特別解放講座) 開催回数: 0回 参加者数: 0人	(前川) 開催回数: 1回(特別解放講座) 参加者数: 100人	-		部落差別をなくす活動を広く伝える場として継続して実施する。	
					(老川) 開催数: 年1回 延べ参加者数: 24人	(老川) 開催数: 年3回 延べ参加者数: 200人	30		人権同和教育推進の一助となっており、継続の必要がある。	

所屬	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
文化財課	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	1 文化財の調査・指定及び活用の推進	文化財保存経費	* 文化財保護審議会(2回)、市指定有形文化財旧上野市庁舎保存活用計画策定検討委員会(2回)を開催し、文化財指定の審議や旧上野市庁舎の保存・活用の検討を行った。 * 指定文化財の調査・管理を実施した。(76件) * 指定文化財の説明看板を1カ所(甲野極楽寺)設置した。 * 文化財年報を発行(300冊)するとともに、書籍『伊賀市の文化財』を販売し、文化財の啓発に努めた。	文化財調査76件	文化財調査50件	1,101	継続	県内最多の指定文化財が所在する当市では、各種文化財の適切な保護・保存と、周知に努めている。	
			文化財施設維持管理	* 直営1館、指定管理4館の文化財施設を適切に維持管理し、入館者を増やすよう啓発した。	入館者数 13.67人/日	入館者数 10.00人/日	24,951	継続	文化財施設の周知に努めるとともに、コロナ禍の中、指定管理者である伊賀市文化都市協会と連携し、入館者を増やすよう努めた。	
			歴史的風致維持向上計画進捗管理事業	* 伊賀市歴史的風致維持向上計画に基づき、法定協議会(2回)、庁内会議(1回)を開き、歴史まちづくりを進めた。 * 重点区域内において、歴史的風致維持向上形成建造物の指定を推進した。	計画進捗率31%	計画進捗率35%	358	継続	重点区域における個別事業について、庁内関係各課と連携し、進捗を図ることができた。	
			文化財保存活用地域計画作成事業	* 庁内検討会議(2回)及び協議会(2回)の開催、市民アンケートの実施により、文化財保存活用地域計画作成事業を推進した。	事業進捗40%	事業進捗35%	1,146	継続	庁内会議・協議会を開催して意見を聴取し、計画作成に向けて進捗した。	
		2・3 有形文化財の保護・保存 民俗文化財の保護・保存	文化財保存事業	* 国重要無形民俗文化財 上野天神祭のダンジリ行事の民俗文化財伝承・活用等事業及び同行事の保存管理事業を指導・助言・監督した。	事業進捗率100%	事業進捗率100%	2,489	継続	事業主体である上野文化美術保存会と連携し、適切に修理事業を進めた。	
			文化財保存事業	* 国重要文化財高倉神社本殿・境内社春日社本殿・境内社八幡社本殿の防災・耐震対策重点強化(防災施設等)事業を助言・指導・監督した。	工事進捗率100%	工事進捗率100%	1,143	完了	事業主体である高倉神社と連携し、適切に防災施設整備事業を進めた。	
			文化財保存事業	* 県指定文化財春日神社拝殿の解体修理事業(組立工事・補修工事)を助言・指導・監督した。	工事進捗率86%	工事進捗率86%	8,980	継続	事業主体である春日神社と連携し、適切に修理事業を進めた。	

所屬	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
文化財課	歴史や文化遺産を守り、未来へと引き継ぐ	4 記念物(史跡・名勝天然記念物)の保護・保存	国史跡伊賀国庁跡保存整備事業	* 史跡公園としての整備を図るため、史跡伊賀国庁跡保存整備事業指導委員会(1回)を開催し、指導・助言を得ながら保存整備工事を実施した。	史跡整備進捗率:50%	史跡整備進捗率:50%	12,554	継続	環境整備及び整備工事を予定通り実施できた。	
			国史跡上野城高石垣計測事業	* 国史跡上野城の高石垣で定点測量を実施し、高さや位置の変化を観察した。	測量実施地点数6点		251	継続	石垣崩落の危険性を把握できるよう努めた。	
			文化財保存経費	* 伊賀国庁跡、伊賀国分寺跡、長楽山廃寺跡、御墓山古墳の草刈り及び障害木の伐採を行い環境整備に努めた。 * 県指定天然記念物ノハナシヨウブ群落管理業務を実施した。 * 国特別天然記念物オオサンショウウオの保護に努めた。	進捗率100%		3,198	継続	国史跡の環境整備に努め、天然記念物の保護活動を適宜行った。	
		5 埋蔵文化財の保護と活用	埋蔵文化財発掘調査経費	* 西明寺地内の斎苑整備事業に伴い、西明寺遺跡の発掘調査を実施した。 * 対象となる民間・公共の開発事業に対し協議を進め、適宜試掘調査・立会調査を行った。	発掘調査件数1件 試掘調査件数6件 立会調査件数16件	発掘調査件数1件 試掘調査件数5件 立会調査件数5件	0	継続	開発事業に対し、埋蔵文化財包蔵地の照会を行い、遺跡地に該当する場合、調査を進め文化財保護に努めた。	
		6 文化財や歴史に関する諸資料の収集・保存及び活用	歴史資料保存管理経費	* 市民からの依頼で歴史資料を5件調査、収集し、目録を9件作成した。 * 『広報いが市』に「伊賀の歴史余話」(6回)を掲載した。 * 上野図書館・文化交流課とともにデジタルミュージアム「秘蔵の国 伊賀」を制作し、公開記念講演会(1回)を開催した。	目録作成9件	目録作成10件	487	継続	市民から不時依頼のある歴史資料の調査を適宜行った。また、伊賀の歴史的魅力を発信できるよう努めた。	

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見				
					令和3年度実績値	令和3年度目標値								
図書館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	1 市民の学習活動の支援	図書館管理経費 図書室管理運営経費 ・図書館の利用促進	* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために臨時休館を行った時期もあったが、感染症対策を実施して開館し、市民の生涯学習の場として、蔵書や資料の充実、提供に努めた。 * 「夜のとしょかん探検」などを通じて、図書館に興味を持ってもらう取り組みを行った。 * 忍者月間には「忍者図書館」と題し、忍者関連図書の特集コーナーの設置や企画展示を行ったり、岸宏子氏生誕100周年記念事業と連携した岸宏子作品紹介コーナーを設置するなど庁内各課との連携により利用促進に繋がった。	貸出利用者数 計73,717人	貸出利用者数 計79,500人	102,353	充実	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数に減少傾向が見られた。また、青山図書室においては移転に伴い約2ヵ月間の休館を行った。生涯学習の場としての役割りを果たすため、引続き利用促進を図るとともに、将来を見据えたサービスの提供が必要である。					
					上野: 62,301人	上野: 67,000人	93,696							
					いがまち: 3,190人	いがまち: 2,800人	2,521							
					島ヶ原: 387人	島ヶ原: 400人	293							
					阿山: 2,113人	阿山: 2,500人	2,545							
					大山田: 2,721人	大山田: 2,800人	2,596							
					青山: 3,005人	青山: 4,000人	702							
		2 利用者サービスの充実	・図書の貸出	* 市広報紙や図書館だより、図書室広報誌等で、新着図書やおすすめ図書の紹介、催し物等開催の情報発信を行い、利用促進に繋がった。 * 図書館・図書室間の配送サービスや三重県立図書館等との相互貸借により利便の向上を行った。 * 地域の特性を活かした図書館(室)運営を行い、身近な図書室ならではの読書活動推進に取り組んだ。 * 校園長会などを通じて団体貸出のPRを行うとともに、市内小中学校へのセット文庫の定期配送貸出を行い、学校図書館との連携・支援を行った。 * 上野点字図書館と連携し、活字での読書が困難な方への録音図書の取次貸出や障がいがある方への郵送貸出に取り組んだ。	貸出冊数計 282,722冊 (うち児童書 127,006冊)	貸出冊数計 303,800冊 (うち児童書 129,100冊)		充実	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数に減少傾向が見られた。配送サービスや相互貸借の利用方法について更なる周知が必要である。セット文庫の配送だけでなく団体貸出の利用促進を進め、学校図書館支援の充実を図る必要がある。					
					上野: 240,835冊 (うち児童書: 102,282冊)	上野: 261,000冊 (うち児童書107,000冊)								
					いがまち: 11,746冊 (うち児童書: 7,096冊)	いがまち: 10,000冊 (うち児童書5,600冊)								
					島ヶ原: 716冊 (うち児童書: 298冊)	島ヶ原: 800冊 (うち児童書400冊)								
					阿山: 8,503冊 (うち児童書: 5,146冊)	阿山: 10,000冊 (うち児童書5,500冊)								
					大山田: 10,052冊 (うち児童書: 6,214冊)	大山田: 11,000冊 (うち児童書5,600冊)								
					青山: 10,870冊 (うち児童書: 5,970冊)	青山: 11,000冊 (うち児童書5,000冊)								
			・図書配送サービス		* 連携した図書館情報システムの運用や週3回の配送サービスの実施により、利便性の向上に繋がった。 * 上野図書館の準新刊など蔵書の一部を図書室に配置し、利用促進に取り組んだ。 * 市内小中学校へのセット文庫の定期配送貸出を行い、児童生徒の図書利用促進に取り組んだ。	配送書籍冊数計 20,941冊	配送書籍冊数計 22,400冊					充実	配送サービス等を継続する必要がある。上野図書館の準新刊をすべての図書室に配置し、図書館全体の利用促進を行う必要がある。	
						上野: 8,142冊	上野: 8,000冊							
						いがまち: 3,765冊	いがまち: 4,000冊							
						島ヶ原: 591冊	島ヶ原: 800冊							
		阿山: 2,678冊	阿山: 3,100冊											
		大山田: 3,119冊	大山田: 4,000冊											
		青山: 2,646冊	青山: 2,500冊											

所属	施策	努力目標	取組事業名	事業概要 (令和3年度の取組内容)	指標		決算額 (千円)	方向性	内部評価 (方向性)	評価委員の意見
					令和3年度実績値	令和3年度目標値				
図書館	生涯を通じ、生きがいを持ち活躍できる	3 読書活動の支援と充実	・読み聞かせ会等の実施	* 各ボランティア団体の協力による絵本や紙芝居の読み聞かせ会の実施により、子どもが本に親しむ機会づくりに繋がった。 * 小学校でのブックトークや読み聞かせ会の実施により児童の図書利用促進を行った。 * 多言語での読み聞かせ会を開催し、多様性に触れたり理解する機会づくりに繋がった。	開催数計 132回	開催数計 211回		充実	新型コロナウイルス感染症拡大防止により一部の事業を中止する結果となったが、感染症対策を行いながら事業を実施する。読み聞かせ会のボランティア支援として、引き続きボランティア研修の開催を行う必要がある。	
					上野:41回	上野:60回				
					いがまち:22回	いがまち:25回				
					島ヶ原:9回	島ヶ原:21回				
					阿山:10回	阿山:24回				
					大山田:30回	大山田:57回				
		青山:20回	青山:24回							
		3 読書活動の支援と充実	・特集コーナーの設置	* 「読書週間」や「差別をなくす強調月間」などの取り組み期間や時事情報などに関連する特集コーナーを設置し、利用促進を繋げた。 * 上野図書館が所蔵する貴重資料の企画展示を行い、郷土史の周知に努めた。	特集実施数計 133回	特集実施数計 125回		充実	市民の読書への関心を高めるため、各種週間や時事情報、ニーズに添った特集コーナーの設置を行う必要がある。	
					上野:51回	上野:50回				
					いがまち:12回	いがまち:15回				
					島ヶ原:2回	島ヶ原:13回				
					阿山:30回	阿山:12回				
					大山田:29回	大山田:20回				
		青山:9回	青山:15回							
		4 資料の収集と活用の推進	・読書感想文コンクールによる読書活動啓発事業	* 第17回読書感想文コンクールを実施し、読書活動の推進を行った。	応募数: 245点	応募数: 330点		充実	読書で得た様々な想いを表現する取り組みは大切であり、継続実施することで、本に親しむ機会を作る必要がある。	
					図書購入冊数 計6,181冊	図書購入冊数 計5,420冊				
					上野:5,762冊	上野:5,000冊				
					いがまち:108冊	いがまち:100冊				
	島ヶ原:17冊				島ヶ原:20冊					
	阿山:105冊				阿山:100冊					
	大山田:116冊	大山田:100冊								
	青山:73冊	青山:100冊								
	4 資料の収集と活用の推進	・資料の収集と活用	* 市民からのリクエストや司書が選書した図書を購入し、資料の充実に努めた。 * 上野図書館が所蔵する貴重資料の一部をデジタル化し、デジタルアーカイブ「デジタルミュージアム 秘蔵の国 伊賀」によりインターネット上での公開や、古文書に関するレファレンス(調べもの相談)に取り組むことで資料の活用を行った。	図書購入冊数 計6,181冊	図書購入冊数 計5,420冊		充実	リクエストや時事情報を把握し、資料収集を効果的に行う必要がある。デジタルアーカイブは今後も閲覧できるよう公開を継続する必要がある。		
				上野:5,762冊	上野:5,000冊					
いがまち:108冊				いがまち:100冊						
島ヶ原:17冊				島ヶ原:20冊						
阿山:105冊				阿山:100冊						
大山田:116冊				大山田:100冊						
青山:73冊	青山:100冊									